



(3) 学校・家庭・地域が連携し、一体となった教育の推進

【連携を重視し、地域とともにある学校づくりを行う】

- ⑬ 校区内の幼稚園・保育所、小学校や高等学校、特別支援学校（松江養護学校安来分教室）、教育後援会・PTAをはじめとする関係諸機関との連携、安来市中学校生徒会サミットを通じた他校との連携、地域での体験活動、高等学校等との連携授業など、一体となって校区内の子どもを育成する連携教育を推進する。
- ⑭ 各種たよりの発行やメール配信、学校ホームページにより、タイムリーな情報提供を行う。また、現状把握に努め、授業公開や学校行事などに参加しやすいよう工夫する。
- ⑮ 明るいあいさつや規則的な生活リズム、家庭学習等の習慣を家庭と連携し定着を図る。

(4) 業務改善を図り、組織的な学校運営の推進

【教職員の協働を促進する職場環境の構築】

- ⑯ 業務改善を推進するためのプロジェクトチームを中心に、教職員の組織的な取組として進める。
- ⑰ 年間を通じた服務に関する研修やOJTによる研修を実施する。
- ⑱ 各種調査・アンケート項目を学校評価指標等に設定し、具体的で実効性のある学校評価・評価システムを実施する。

3 研究計画

(1) 研究主題 つながり、高め合う生徒の育成

～ 生徒が主体的に取り組む授業のための指導と評価のあり方 ～

(2) 研究の重点

- ① 学習に主体的に取り組むための授業改善
- ② 適切な学習状況の見取り方と評価方法
- ③ つながり、高め合う人間関係づくり
- ④ 教職員研修の充実

4 特色ある教育

【重点1】学習意欲を高める授業改善と学力向上の取組

- 学び合いのある学習集団づくり・・・ペアや小グループでの活動を全教科等で効果的に取り入れる。
- 見通しをもったり振り返ったりする学習活動を重視し、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを行う。
- ICT 機器を活用し、生徒の活動時間をしっかりと確保する授業展開を工夫する。
- ◇家庭学習の習慣化を図るため宿題を計画的に出し、提出チェックを徹底し基礎学力の定着を図る。

【重点2】集団づくりの取組

- 学級活動や生徒会活動、部活動、毎週行う学年朝礼などにおいて生徒が主体的に活動する場を設定し、その活動を積極的に支援する。（自己存在感、自己有用感をもたせる）
- 日常生活や学習場面において集団ルールの定着を図り、お互いが安心して生活できるよう生徒指導を充実させる。（共感的な人間関係づくり）
- あたたかい人間関係を醸成し、不登校やいじめの未然防止と適切な初期対応を行う。

5 学級編制（5月1日現在） ※生徒数（ ）は特別支援学級で外数

学年	1年生	2年生	3年生	支援学級	計
学級数	5	4	4	4	17
男子	76(4)	49(4)	84(1)	9	218
女子	75(4)	75(1)	60(1)	6	216
計	151(8)	124(5)	164(2)	15	434

## 安来市立第二中学校

### 1 学校教育目標

『広い視野に立ち 安来の未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成』

《めざす生徒像》

〈意〉 困難な課題に あきらめずに粘り強く取り組む生徒

〈知〉 自ら課題を見つけ 他者と協働して考え 確かな知識・技能をもとに判断し 表現する生徒

〈徳〉 自他を大切にし 思いを行動で表すことができる生徒

〈体〉 健康に関心をもち 主体的に心身を鍛える生徒

### 2 学校経営の重点

『進路保障の理念を学校経営の基盤とし、安来の未来と自らの生き方を関連づけた学習をカリキュラムの軸とすることで、家庭、地域と協働し、自立して未来を切り拓く生徒を育てていく』

#### (1) 進路保障を柱とした人権教育の推進

○教職員自らが人権感覚を磨き、生徒の規範意識を育て、人権が尊重された学校環境づくりを行う。

○学年ごとに発達段階を踏まえた重点人権課題を決め、年間計画を立てて人権学習に取り組む。

○アンケートQ-Uを活用し、居場所づくりと絆づくりの場をつくることを大切にしたい学校、学級、学年経営を行う。

#### (2) 確かな学力の育成

「よい学級、よい授業、よい家庭学習」を学力向上スローガンとし、確かな知識・技能を基盤とした主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。

○総合的な学習の時間を軸とした教科横断型のカリキュラムをもとに、各教科で単元単位の指導と評価の計画を立て、単元評価シートを活用しながら、課題解決型の学習に取り組むことで、主体的・対話的で深い学びを推進する。

○道徳科において、考え議論する道徳の実践に取り組むとともに、道徳的価値について多面的・多角的に考えたか、自分ごととして考えたかについて、ポートフォリオでの評価を実施する。

○学校図書館を充実させる。

#### (3) ふるさと・キャリア教育の推進

○総合的な学習の時間、特別活動を軸として、安来の未来と自らのキャリアを関連づけて考える力を育成する。地域の教育資源を活用した教育活動を展開する。

○自らの学びを振り返り、自らの進路選択や生き方を考えるためにキャリアパスポートを活用する。

○生徒が主体となって課題を解決する活動を生徒会活動、部活動でも増やすことで、失敗体験と成功体験を積み重ねる機会をつくり、自らを客観的に見る力とともに、自己有用感、自己肯定感を育てる。

○あたりまえのことをあたりまえのこととして、極める。ふるまいの向上を常に意識する。

#### (4) 社会に開かれた学校づくり

○学校の経営方針、学校経営の重点、施策等を家庭、地域に発信、共有し、学校評価を活用した双方向型のPDCAサイクルを構築する。PTAとの協働による教育活動の充実を図る。

○家庭、地域との信頼関係を構築するために、各種たより、HP等での情報発信を行う。

### 3 研究計画

#### (1) 研究主題

「総合的な学習の時間を軸とした教科横断的カリキュラムの構築」

～生徒の社会的な自立と、確かな学力の育成をめざして～

#### (2) 具体的な取り組み

##### ①「総合的な学習の時間」の改善

ア 地域課題を探究テーマとし、その解決のために地域のひと・もの・ことを活用するよう、3年間の探究サイクルを改善する。

イ 各教科等につけた力が、総合的な学習の時間で活用されるよう教科横断的カリキュラムを構築する。その際、各教科等でめざす知識・技能と、すべての教科で共通して育てる資質・能力（いわゆる基礎的・汎用的能力）を整理する。

##### ②各授業の授業改善（二年次は総合的な学習の時間を主に研究する教科等として実践）

生徒が主体となって課題を解決する活動を増やし、育てたい資質・能力を明確にした授業改善を各教科で行い、その資質・能力を活用するために、総合的な学習の時間を軸とした教科横断的カリキュラムを構築する。

##### ③基礎・基本と学習習慣の定着

ア 定期的な放課後補習、長期休業中自主学习会等を実施し基礎・基本の確かな定着を図る。

イ 家庭学習の課題を工夫し、主体的な学習習慣を身につける。

### 4 特色ある教育

『地域課題を探究テーマとした総合的な学習の時間』

ア 地域課題を探究テーマとし、その解決のために3年間の探究サイクルで、地域のひと・もの・ことを活用する。

イ 教科横断的カリキュラムの構築により、各教科につけた力を総合的な学習の時間で活用する。

### 5 学級編制

学 年	1 年	2 年	3 年	特別支援		計
				知的	自閉症・情緒	
学級数	1	1	1	1	1	5
生徒数	26	28	23	1	2	80
男子	15	21	8	1	2	47
女子	11	7	15	0	0	33

# 安来市立第三中学校

## 1 教育目標

温かくたくましい人間力をもった生徒の育成

【校 訓】 自主 誠実 協同 健康

【めざす生徒像】

- 自ら考え判断して行動し、生涯にわたって学び続けようとする意欲をもった生徒
- 真心を込めて行動し、責任を果たす実行力のある生徒
- 自他を大切に研かれた人権感覚をそなえ、助け合いながら切磋琢磨する生徒
- 心身ともに健康で、個性豊かな、活力ある生徒

## 2 学校経営の重点

(1) 基礎的な学力の定着・学習習慣の確立と、思考力・判断力・表現力等の育成

- ① 基礎的な学力の育成と学習習慣の確立
- ② 思考力・判断力・表現力等の育成
- ③ わかる授業づくりとICT活用

(2) 生徒理解の推進と個に徹したきめ細かな指導

- ① 生徒理解の推進
- ② 個に徹したきめ細かな指導

(3) 温かい人間関係と自治的な能力を培う学級・学校経営

- ① 温かい人間関係の育成
- ② 自治的な能力の育成

(4) 小中の連携教育と開かれた学校づくり

- ① 校区の小学校との連携
- ② 開かれた学校づくり

(5) 安心・安全で、落ち着いた教育環境の整備

- ① 安心・安全で、落ち着いた教育環境づくり
- ② 適切な言語環境づくり

(6) 教職員の資質の向上

## 3 研究計画

(1) 研究主題

豊かな関わり合いの中で、主体的に課題を解決していく生徒の育成

(2) 研究内容

- ① 学習スキルの習得と学習習慣の確立
  - ・ 「めあて」の提示、「まとめ」の整合性を重視した授業の展開

- ・ 視点を明確にした振り返りの時間の確保と方法の工夫
- ・ 繰り返し学習、個に応じた指導の工夫
- ② 思考力・判断力・表現力等の育成
  - ・ 「言語活動」を重視した学習の展開
  - ・ 獲得した知識、技能を「活用する場面」、「思考する場面」の設定
  - ・ 体験的な学習を通じた探究的な学びの展開
  - ・ 課題解決場面における学校図書館を活用した学習の展開
  - ・ すべての教科における学校図書館の活用の追究
  - ・ ICTを活用した学習の展開

#### 4 特色ある教育

##### (1) 生徒の自治的活動と、地域との協働による人権・同和教育の推進

- ① 人権集会、「いじめを考える」学級討論・全校生によるパネルディスカッション
- ② 「人権・同和問題学習」に係る授業の地域への公開(交流センター、隣保館、諸団体との連携)
- ③ 「人権講演会」の実施(PTA、交流センターとの連携)

##### (2) 青少年赤十字の目標「気づき、考え、実行する」に基づいた学習の推進

- ① 地域と共に取り組む防災学習(総合的な学習の時間)
  - ・ 「自助・公助・共助」を柱とした学習計画とカリキュラム・マネジメント
- ② 地域の交流センターとの連携によるボランティア学習
  - ・ 「子ども読書会」「町民体育大会」「飯梨こどもクラブ」「王陵の丘健康ウォーク」「荒島テント村」「あらしまこーふんふえすた」等へのボランティアスタッフとしての参加
  - ・ 青少年赤十字活動としての募金活動
- ③ いのちの学習… 生と性を考える
  - ・ “バースデイプロジェクト”の出前授業、一人一体の実習体を使った救急救命法等

#### 5 学級編制

学 年	1年	2年	3年	特支	計
学級数	2	2	2	3	9
生徒数	男	30 (4)	25 (6)	32 (1)	87
	女	18	28 (1)	27	73
	計	48 (4)	53 (7)	59 (1)	160

( ) は特別支援学級生徒内数

# 安来市立広瀬中学校

## 1 学校教育目標

### (1) 校訓 進取向上

### (2) 学校教育目標

「ふるさとを愛し 人間性豊かに たくましく生きる生徒の育成」

### (3) めざす生徒像

- ・広い視野に立ち、自ら進んで考え実行する生徒
- ・感性と想像力を磨き、仲間とともに向上する生徒
- ・心身ともにしなやかに、たくましく、創造力に富む生徒
- ・将来の夢や目標をもち、その実現に向かって努力する生徒

### (4) 学校経営の基本方針

- ・教職員・生徒・家庭・地域相互の信頼関係を基軸とし、一体感・躍動感のある学校経営に努める。
- ・人権尊重の精神を大切にし、豊かな情操（感性・想像力）を育む教育の推進に努める。
- ・学びの意欲を持ち、自己の生き方を考えながら将来を切り拓こうとする生徒の育成に努める。
- ・地域資源を生かした教育活動を推進し、ふるさとに愛着と誇りを感じる生徒の育成に努める。

## 2 学校経営の重点

「信頼・絆を礎に、夢を語り、挑戦する生徒の育成」

### (1) 自ら考え、行動できる生徒の育成と集団力の向上

- ・多様な個性を認め合い、自他を尊重し合う集団づくりと環境づくりに努める。
- ・広中ブランドを一人ひとりが自分事として考え、実践していくとともに、集団でのブランド力向上をめざす。
- ・夢や目標を描き、語り、つかもうとする気運を高めるために、キャリアパスポート活用や生徒の自治的活動を推進する。

### (2) 社会の中で生きて働く学力の育成

- ・学校図書館や ICT を積極的・効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」となる授業をめざす。
- ・実態の多面的把握に基づいた指導体制と評価の工夫・改善を重ね、集団での学びと個に応じた学びを充実させる。
- ・家庭と連携しながら、家庭学習の習慣化や質の向上を支援し、粘り強く取り組む態度や、学習方法・時間等を調整していく力を培う。

### (3) 健やかな心身の育成

- ・全ての教育活動を通じた道徳教育を推進し、個々の生徒の道徳的実践力の向上に努める。

- ・多様な健康課題への対応、ネットモラル指導、感染症対策等、健康で安全な生活を営んでいくための対応と指導の充実に努める。
  - ・生徒たちが目標を持ち、主体的に取り組む、健全で教育的な部活動運営を進める。
- (4) 地域とともに発展する学校づくりの推進
- ・様々な地域資源を理解し、触れ合い、発信するなどの活動を工夫し、ふるさと教育の一層の充実に努める。
  - ・学校教育活動の評価や改善に向けた提案など、地域の声や絆を大切にし、地域の活力となる学校づくりに努める。

### 3 研究計画

#### (1) 研究テーマ

未来へつながる思考力・判断力・表現力の育成  
～互いが高まる伝え合い活動を通じて～

#### (2) 研究実践の重点

◇主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり

◇人権教育の推進、キャリア教育・ふるさと教育・総合的な学習の時間の充実

### 4 特色ある教育

#### (1) ふるさと教育の推進

校区の多様な資源（ひと・もの・こと）に触れ、「知る・体験する・発信する・貢献する」学びを繰り返し展開する中で、ふるさと広瀬に対する愛着と誇り、地域貢献への意欲を育てる。

#### (2) キャリア教育の推進

進路に関する学びを系統的に積み上げることで、多様な視点で社会参加の在り方を考える意識や態度を育てる。キャリアパスポートの活用を通して、夢を描き、語り、挑戦しようとする意欲を高めるとともに、自己の成長・変容への気づきを促し、キャリア形成を図る。

#### (3) 学校図書館活用教育、ICT活用教育の推進

学校図書館並びに ICT 機器を効果的に活用し、情報活用能力の向上を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりの一助とする。

### 5 学級編制

学年		1	2	3	支援学級	計
学級数		2	2	2	2	8
生徒数	男	21 (2)	31 (1)	24 (1)	4	80
	女	20 (1)	18 (0)	36 (1)	2	76
	計	41 (3)	49 (1)	60 (2)	6	156

( ) は特別支援学級生徒外数



# 安来市立伯太中学校

## 1 学校教育目標

「豊かな人間性と自主的精神に満ちた生徒を育てる」

校訓 独立 協力 技術

### 【めざす学校像】

- ・「安全安心を実感できる学校」
- ・だれもが学び、進化・発展する「学ぶ学校」
- ・地域に存在を喜ばれ、「地域とともにある学校」

### 【めざす生徒像】

- ・自ら考え、判断し、行動する生徒
- ・多様な他者と協働する生徒
- ・豊かな発想をもち、創意工夫する生徒

### 【めざす教職員像】

- ・多様な価値観を尊重する教職員
- ・他者と合意形成を図り、協働する教職員
- ・挑戦し、試行錯誤しながら粘り強く取り組む教職員

## 2 学校経営の重点

「トライアル&エラー 地域とともに進化する伯太中」 次の力・スキルを高める

### (1) 自己を調整する力の向上

- ① 自己を理解する
- ② 感情や行動をコントロールする
- ③ 見通しをもって粘り強く取り組む
- ④ 振り返って次につなげる

- ・キャリア・パスポートの活用 ・セルフPDCA指導の充実
- ・通級指導教室の活用 ・教育相談の充実

### (2) 多様な人と協働する力の向上

- ① 適切に援助を求める
- ② 他者の立場に立って思考する
- ③ 他者と合意形成しながら行動する

- ・人権教育の充実 ・道徳教育の充実 ・生徒が主体となる活動の推進
- ・地域の「ひと・もの・こと」とふれあう体験活動の充実

(3) 言語や情報を使いこなす力の向上

- ① 言語と技能をみがく
- ② 知識を関連づけ、深く理解する
- ③ 思いや考えを他者に伝える・受けとめる
  - ・ICTを活用した協働的な学びの充実 ・予習・復習・自学指導の充実
  - ・学校図書館活用教育の充実 ・各種検定・コンクール参加の推進

3 研究計画

(1) 研究主題

「協働的に学び、課題を解決しようとする生徒の育成」  
～ICTの効果的な活用を通して～

(2) 研究実践の重点

- ①授業づくり  
協働的に学ぶためのICTの効果的な活用実践
- ②集団づくり  
協働的に学ぶための基盤づくり…思いを伝え合う場の設定

4 特色ある教育

(1) ふるさと教育を基盤としたキャリア教育

ふるさと伯太の教育資源「ひと・もの・こと」を活用した体験的・探究的な学習を通して、よりよく問題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

(2) ICT活用教育

全学年・全教科でICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びにつなげる。

5 学級編制

学年	1年	2年	3年	支援学級	計
学級数	1	2	1	2	6
生徒数	男	16 (4)	23 (2)	17	62
	女	15	19 (2)	17	53
	計	31 (4)	42 (4)	34	115

( ) は特別支援学級生徒外数